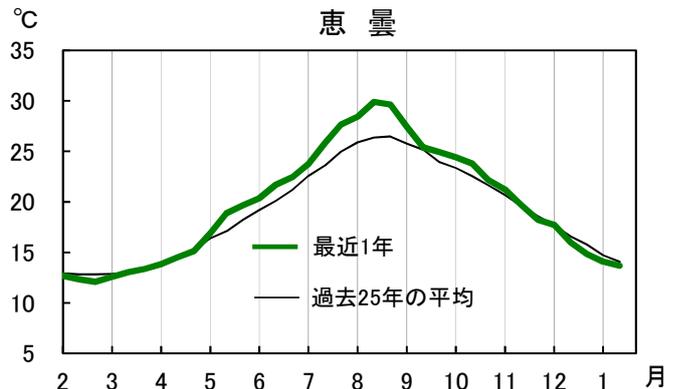
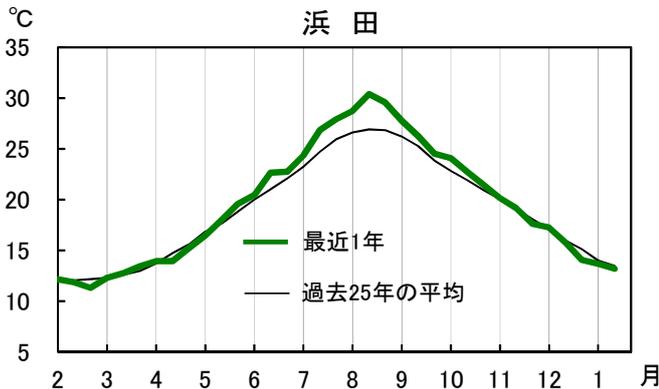




《12～1月の海況》

12月	月平均	平年差	評価
浜田	15.6℃	-0.4℃	やや低め
恵曇	16.4℃	-0.4℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では12月は上・中旬は「平年並み」で、下旬に「かなり低め」に転じましたが、1月に入り、上・中旬とも「平年並み」で経過しています。一方、恵曇地区では12月は上旬が「平年並み」で、中旬以降、1月上旬まで「やや低め」が続きましたが、1月中旬は「平年並み」で経過しています。



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。サバ類は平年の2割だったものの、主体であるマアジは平年の2倍、その他の魚種もほぼ平年を上回りました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではウルメイワシ、ブリ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。特に主体であるウルメイワシは、両地区とも近年で最も多く、2,000～3,000トン前後の水揚げとなりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の92%）を主体にスルメイカ・アオリイカ・ヤリイカ・ソデイカ（4種で同8%）が混じる漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は103kgで平年並みでした。一方、西郷地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の53%）とソデイカ（同41%）が主体で、ヤリイカ（全体の5%）も漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は52kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではキダイ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は平年を10%上回りました。キダイは大型～小型サイズがまとまり、平年の2倍の水揚げがあり、ソウハチ、アカムツも平年の1.2～1.4倍の水揚げがありました。一方、ムシガレイ、アンコウは平年の6～8割の水揚げに留まり、低調に推移しました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともにマダラ、ソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、和江地区は平年並み、久手地区は平年を35%上回りました。和江地区では、マダラ、キダイは平年の2.1～1.4倍の水揚げとなりましたが、アンコウ、ニギス、ムシガレイ、アナゴ類は平年の7～9割の水揚げに留まりました。久手地区では、マダラ、ソウハチ、ニギス、キダイ、ヤリイカは平年の2.3～1.4倍の水揚げとなりましたが、アンコウは平年の7割の水揚げに留まりました。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ主体の漁況で、1統当りではマアジが平年の5倍だったものの、ブリが4割、その他の魚種はほぼ平年並みだったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。出雲地区ではブリ、サワラ類主体の漁況で、1統当りではブリ、サワラ類がそれぞれ平年の5倍、3倍、その他の魚種も概ね好調だったため全統の総漁獲量は平年を上回りました。隠岐地区ではマアジ、ソウダガツオ主体の漁況で、1統当りではマアジが平年の6倍だったものの、例年主体となるスルメイカが平年の1割以下となったため、全統の総漁獲量は平年を下回りました。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、クロマグロ（ヨコワ）が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は40kgで平年を上回りました。石見地区ではクロマグロ（ヨコワ）、サワラ類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は38kgで平年を上回りました。隠岐地区ではクロマグロ（ヨコワ）、ブリ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は29kgで平年並みでした。9月下旬から始まった隠岐地区の養殖種苗用のヨコワ漁は12月末で概ね終漁し、平年並みの漁況でした。

【平成 25 年 12 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ	383トン	403%	128%	23.9トン	353%	142%	◎
	西郷	ウルメイワシ、ブリ	7,000トン	195%	211%	71.0トン	230%	219%	◎
	浦郷	ウルメイワシ、マアジ、サバ類	3,476トン	231%	232%	51.6トン	285%	198%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	17トン	113%	119%	103kg	151%	117%	○
	西郷	ケンサキイカ、ソデイカ	1トン	226%	24%	52kg	164%	65%	▲
沖合 底びき網	浜田	キダイ	359トン	133%	97%	14.3トン	138%	111%	◎
小型 底びき網	久手	マダラ、ソウハチ	155トン	122%	117%	898kg	139%	135%	◎
	和江	マダラ、ソウハチ	257トン	95%	101%	830kg	88%	97%	○
定置網 (大型)	浜田	休漁							
	美保関	サワラ、ブリ、ソウダガツオ	172トン	230%	164%	2.0トン	212%	165%	◎
	浦郷	ソウダガツオ、マアジ	8トン	27%	26%	335Kg	26%	29%	▲
釣り・縄	仁摩	クロマグロ(ヨコワ)、シイラ、ブリ	18トン	127%	91%	60kg	112%	113%	○
	大社	クロマグロ(ヨコワ)、ブリ	21トン	154%	102%	53kg	132%	110%	○
	西郷	メダイ、クロマグロ(ヨコワ)	4トン	84%	43%	32kg	127%	79%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。